

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL http://www.honshuchemical.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 生坂 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,960	△8.5	1,753	△10.6	1,707	△12.5	713	△33.8
27年3月期第3四半期	15,251	22.4	1,960	37.6	1,952	40.8	1,078	33.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,110百万円(△23.0%) 27年3月期第3四半期 1,441百万円(△2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	62.19	—
27年3月期第3四半期	93.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,739	16,613	55.5
27年3月期	27,639	16,159	52.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,844百万円 27年3月期 14,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	19,000	△8.1	2,200	△29.9	2,100	△32.5	820	△49.0	71.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類4ページ(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	11,500,000株	27年3月期	11,500,000株
28年3月期3Q	23,067株	27年3月期	22,827株
28年3月期3Q	11,477,004株	27年3月期3Q	11,477,533株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、上期は政府による経済政策や金融緩和政策の効果を背景に企業業績や雇用情勢等は緩やかに回復しました。一方、下期に入り、中国及びその他新興国経済の景況感が悪化、原油価格の低迷による影響等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、エンプラ向けモノマー、自動車用特殊ビスモノマーは堅調に推移しておりますが、第2四半期以降、クレゾール誘導品が市況安で採算が悪化し、また、第3四半期以降、スマートフォンを含むIT機器関連、光学用特殊ビスフェノールの堅調さが薄れ、需要減及びそれに伴う物流在庫調整局面となりました。

このような状況のもと、当社グループは、既存コア製品の拡販や、新規製品の開発促進と市場への早期投入に注力するとともに、和歌山工場の基盤強化等に全力を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、売上高は13,960百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は1,753百万円（同10.6%減）、経常利益は1,707百万円（同12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は713百万円（同33.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、主に家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出されております。

当第3四半期においては、競争激化による販売価格の低下およびユーザーでの生産調整等により、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

・その他のクレゾール誘導品

当第3四半期においては、需要減退と競争激化により販売数量が大きく減少しました。その結果、売上高は前年同四半期を下回りました。

・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン・携帯電話・スマートフォン等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるPPSUの原料として使用されております。

当第3四半期においては、PPSU向けの順調な販売が続き、販売数量が増加したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や紛体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

当第3四半期においては、需要全般において低調であったことから、販売数量が落ち込み、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は5,956百万円（前年同四半期比10.4%減）、総売上高に占める割合は42.7%となり、セグメント利益は271百万円（同28.0%減）となりました。

<機能材料>

・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

当第3四半期においては、スマートフォンの伸びが鈍化し、LCD市場に一部弱い動きがみられ、また、堅調であったフォトレジスト市場においても中国及びアジア市場の需要が低迷したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第3四半期においては、上期まで堅調であった光学部品用向けの樹脂については、下期に入り需要が減少しました。その結果、売上高は前年同四半期並となりました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、3,066百万円（前年同四半期比7.6%減）、総売上高に占める割合は22.0%となり、セグメント利益は506百万円（同25.2%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売されており、前年9月よりハイビス社において第2プラントの商業生産が開始され、引き続き需要が堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同四半期並となりました。

・受託品

受注数量が市場環境の変化もあり減少したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料部門の売上高は、4,614百万円（前年同四半期比10.6%減）、総売上高に占める割合は33.0%となり、セグメント利益は1,471百万円（同7.3%増）となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は324百万円（前年同四半期比156.9%増）、総売上高に占める割合は2.3%となり、セグメント損失は95百万円（前年同四半期はセグメント利益24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の減少（36百万円）、売掛金の減少（520百万円）、商品及び製品の増加（165百万円）等により、対前年度末比276百万円減少し、15,268百万円となりました。

有形固定資産は、対前年度末比632百万円減少し、10,571百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比899百万円減少し、26,739百万円となりました。

負債合計は、買掛金の減少（650百万円）、長期借入金の減少（764百万円）等により、対前年度末比1,354百万円減少し、10,126百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（415百万円）、非支配株主持分の増加（35百万円）等により、対前年度末比454百万円増加し、16,613百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に公表いたしました業績見通しの数字については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下の通り修正しております。

エンブラ向けモノマー、自動車用特殊ビスモノマーは堅調に推移しておりますが、第2四半期以降、クレゾール誘導品が市況安で採算が悪化し、また、第3四半期以降、スマートフォンを含むIT機器関連、光学用特殊ビスフェノールの堅調さが薄れ、需要減及びそれに伴う物流在庫調整局面となってきました。

この結果、当社グループの平成28年3月期通期の業績は、前回発表の予想よりも減益となる見通しであります。

平成28年3月期通期業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	3,500	3,300	1,630	142.02
今回修正予想(B)	19,000	2,200	2,100	820	71.45
増減額(B-A)	△3,000	△1,300	△1,200	△810	
増減率(%)	△13.6	△37.1	△36.4	△49.7	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	20,663	3,137	3,111	1,608	140.15

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,419	5,382
売掛金	4,852	4,332
商品及び製品	3,846	4,011
仕掛品	428	317
原材料及び貯蔵品	737	862
その他	259	361
流動資産合計	15,544	15,268
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	8,443	7,810
その他(純額)	2,761	2,761
有形固定資産合計	11,204	10,571
無形固定資産	43	64
投資その他の資産	846	835
固定資産合計	12,094	11,471
資産合計	27,639	26,739
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,647	1,997
短期借入金	1,912	2,054
未払法人税等	732	475
役員賞与引当金	24	18
その他	1,175	1,338
流動負債合計	6,493	5,883
固定負債		
長期借入金	2,345	1,581
役員退職慰労引当金	79	98
退職給付に係る負債	1,477	1,526
その他	1,084	1,036
固定負債合計	4,986	4,242
負債合計	11,480	10,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	11,751	12,166
自己株式	△14	△14
株主資本合計	14,250	14,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	60
為替換算調整勘定	75	102
退職給付に係る調整累計額	41	15
その他の包括利益累計額合計	175	179
非支配株主持分	1,732	1,768
純資産合計	16,159	16,613
負債純資産合計	27,639	26,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,251	13,960
売上原価	11,912	10,818
売上総利益	3,338	3,141
販売費及び一般管理費	1,378	1,388
営業利益	1,960	1,753
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	33	3
為替差益	—	7
還付所得税等	—	8
その他	23	8
営業外収益合計	56	27
営業外費用		
支払利息	30	48
その他	34	25
営業外費用合計	64	73
経常利益	1,952	1,707
税金等調整前四半期純利益	1,952	1,707
法人税等	625	621
四半期純利益	1,326	1,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	248	372
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,078	713

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,326	1,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	1
為替換算調整勘定	129	48
退職給付に係る調整額	△33	△26
その他の包括利益合計	115	24
四半期包括利益	1,441	1,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,135	716
非支配株主に係る四半期包括利益	306	393

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,646	3,319	5,159	15,124	126	15,251	—	15,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,646	3,319	5,159	15,124	126	15,251	—	15,251
セグメント利益	376	676	1,371	2,424	24	2,449	△488	1,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△488百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,956	3,066	4,614	13,636	324	13,960	—	13,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,956	3,066	4,614	13,636	324	13,960	—	13,960
セグメント利益又は セグメント損失(△)	271	506	1,471	2,249	△95	2,154	△400	1,753

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△400百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△400百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。